



撃 ま ず 届 せ す が ん ば ろ う 釜 石 !

東部地区（浜町）

発行：平成27年6月

発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

東部地区（浜町）における復興事業のうち、「工事進捗及びスケジュール」「グリーンベルト整備について」「災害復興公営住宅について」「フロントプロジェクトについて」「市民ホール・情報交流センターについて」「新釜石魚市場について」「釜石港海岸の防潮堤について」「甲子川水門の進捗状況について」「釜石湾口防波堤の復旧状況について」の説明が行われ、参加者の皆様と意見交換を行いました。

開催概要	開催日：平成27年5月11日（月）	時 間：18:30～20:50
	場 所：市役所第4庁舎3階第7会議室	参加人数：67人



東部地区の復興整備事業について

東部地区における市の復興整備事業



【別資料5ページ】

- ①防災機能と居住環境の確保に向けた整備
(津波復興拠点整備事業)
- ②グリーンベルト(避難路)の整備
(社会資本整備総合交付金事業)
- ③水産機能の集約と安全性の向上を図るための整備
(漁港施設機能強化事業) (漁業集落防災機能強化事業)

○東部地区における復興基盤整備事業は、以上の3つの事業に大きく分けて、現在進めています。



国道45号東側の宅地割込み案について



昨年住民の皆様にご回答いただいた意向調査結果に基づき、現在、宅地の割り込み検討を行っております。2015年6月より、対象となる地権者さまに割り込みを行った宅地の位置をご確認していただくために個別面談会を実施いたします。こちらにつきましては近日中に案内状を送付いたします。

このような意見をいただきました

- 市民ホールの計画に、駐車場が盛り込まれていないが、どう考えているのか?
大変申し訳ないのですが、今までどおり市営駐車場をお使いいただきたいと考えております。
- 復興予算は足りるのか?
予算としては、国から復興交付金の予算をいただいている。現時点で「津波復興拠点整備事業」に約106億円、「グリーンベルトの整備」に約29億円、「漁港施設機能強化事業」に約32億円、ほぼ全てを国費で賄える計画になっています。
- 土地の収用・買収の進捗状況が、7割というのはまだ少ないと感じるがどうか。
現在、住民の皆様のご協力のおかげで7割強の買収が進んでいます。ただ、まだまだ足りないというご意見も重々承知している次第です。具体的に再分譲の場所や価格等が明確に出されないと不安に思う住民の方もいて、合意に至っていないケースがあります。6月以降、個人面談で具体的なものを提示させていただく中でそういった不安を取り除き、進めていけるものと見込んでいます。
- どうして買収計画が遅れているのか、という理由を教えてもらいたい。
市に一度買い取りをしてもらうことに不安を覚えてしまっている方が少なからずいます。再分譲という形なのだが、本当に土地が戻ってくるのか不安な所があるようです。また、土地の所有者が亡くなってしまっており、権利関係や相続関係の問題で遅れていることも計画が遅れている原因の一つとして挙げられると思います。
- 防潮堤の窓が多いと感じる。海を見るためのものだろうからもっと少なくてもいいのではないか？工期も金もかかるはずだが。
おっしゃるとおり、窓は海を見るためのものです。多ければ多いほど時間と予算はかかります。但し、市としては海の眺めを確保したいという考え方で行っております。
- 防潮堤について、港町のあたりは整備をしているのを見るが、浜町の防潮堤計画の具体的なスケジュールはどうなっているのか?
平成28年3月を計画しております。



復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思います。
1日も早く工事を完成させたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や
市のホームページでも公開しています。
あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部

TEL: 0193-22-2111(内線 119)
FAX: 0193-22-2686